

第2次 見附市 生涯学習推進プラン

(平成21年度～平成28年度)

見附市まちづくり課

目次

生涯学習推進プラン体系図	3
--------------	---

第1部 推進構想

改訂の趣旨と計画期間

1 「見附市生涯学習プラン」改訂の趣旨	6
2 計画期間	6

第2部 基本構想

1 基本理念	8
2 基本目標	8
3 基本施策	10
4 主要施策と主要事業の方向	11

乳幼児期	11
少年期	12
青年期	13
成人期	13
高齢期	14

子育てを地域みんなで支えることの必要性を学び、体制を整備しましょう

魅力的な地域づくりを進め、交流人口を増やしましょう

地域教育力の向上を図り、地域コミュニティの拡充を図りましょう

心身の健康増進を図り、スポーツ・文化活動を楽しみましょう

人材の発掘と育成をすすめ、学習活動に生かします

市民団体・自主グループ・ボランティア団体・NPOの活動や起業をめざすグループ団体等の活動支援を行います

学習情報の収集と発信、提供の充実を図ります	20
学習相談機能の充実を図ります	20
学習の場を拡充し、関係施設の利便性の向上を図ります . . .	21

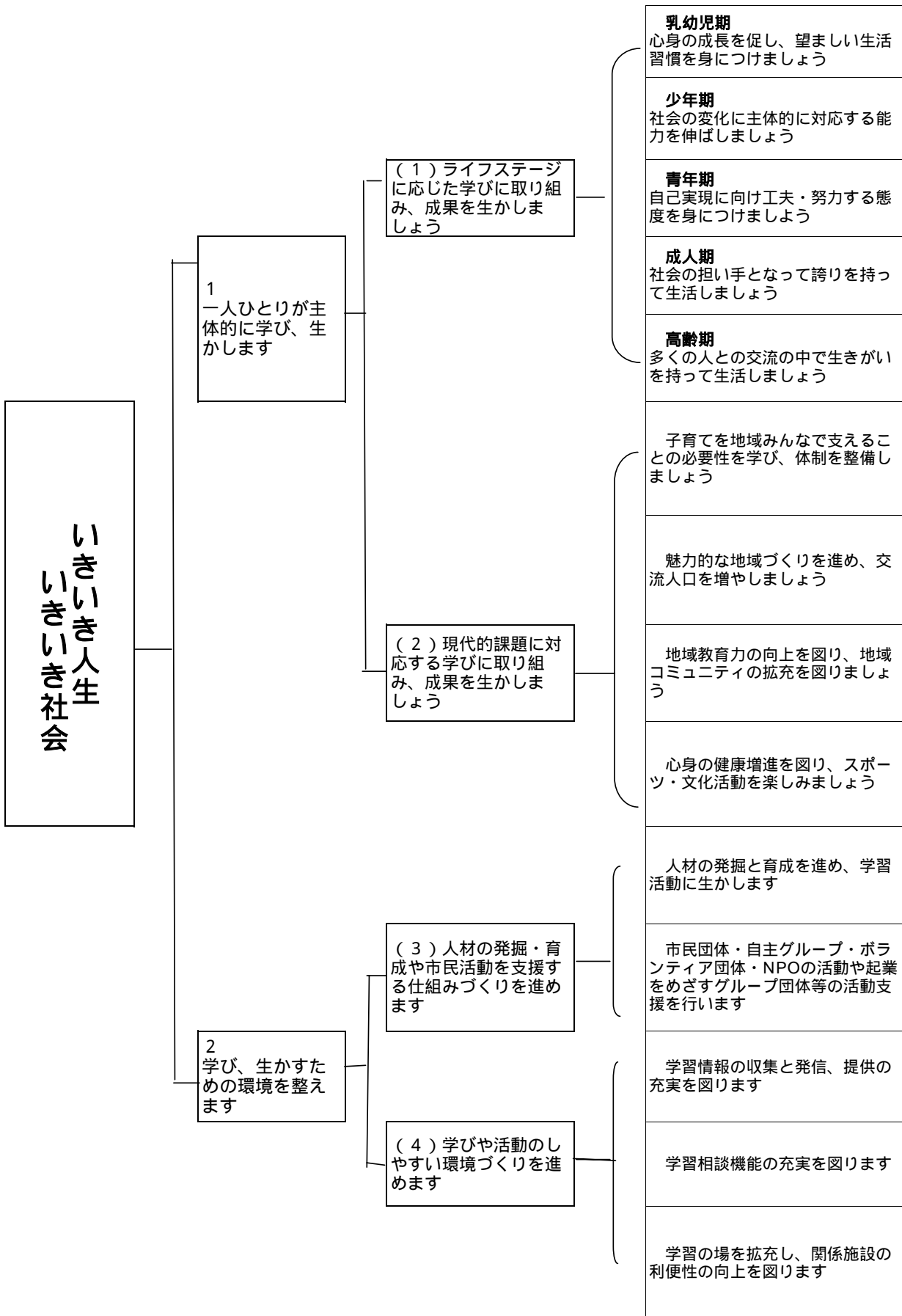
生涯学習推進プラン

基本理念

基本目標

基本施策

主要施策



主要事業の方向

<p>ア 子どもたちの興味や自ら進んで学ぼうとする意欲や行動する力を育みましょう</p> <p>イ 親子のふれあいを通じ、基本的な生活習慣を身につける学びを充実しましょう</p> <p>ウ 同年代の子どもと一緒にふれあい、心身の成長を促す学びを進めましょう</p>
<p>ア 地域での「遊び」から、学ぶ意欲・思考力・判断力を培う学びを進めましょう</p> <p>イ 郷土（地域）の社会・自然・歴史・文化に親しむ学びを進めましょう</p> <p>ウ ボランティアや共同生活体験を通じ、連帯感・協調性を培う学びを進めましょう</p>
<p>ア 出合いや交流の中で、自分の生き方や人生設計を考える学びの機会を作りましょう</p> <p>イ 社会人として必要な教養や自分が知りたいテーマについての学びを進めましょう</p> <p>ウ 地域社会やスポーツ文化活動を発展・継承する学びを進めましょう</p>
<p>ア 社会人として必要な現代的課題についての知識を身につけましょう</p> <p>イ 趣味や教養を高め、豊かな暮らしを営むための学びを進めましょう</p> <p>ウ 地域で共に生きるための問題を考え、解決に向けた学びを進めましょう</p>
<p>ア 同世代や異世代とのふれあいや社会活動への参加を促す学びを進めましょう</p> <p>イ 趣味や教養を高め、豊かな暮らしを営むための学びを進めましょう</p> <p>ウ 地域でいきいきと暮らすための問題を考え、解決に向けた学びを進めましょう</p>
<p>ア 学校や親だけでなく、社会全体で育てる意識を育む学びをしましょう</p> <p>イ 不安や悩みを持つ親を支援する学びを充実しましょう</p> <p>ウ 学校・行政・地域でフォローする仕組みづくりや学びを進めましょう</p>
<p>ア 男女が心地よいパートナーシップで子育てをするために必要な学びや体制を整備しましょう</p> <p>イ 進出企業の市民雇用や従業員の定住、イベント参加などまちづくり活動への参画を推進しましょう</p> <p>ウ 全国の地域間交流を活発に進め、見附のまちの魅力を磨く学習をしましょう</p> <p>エ 団塊世代の知識や経験を生かして地域を活性化する活動をしましょう</p>
<p>ア 地域課題を自分たちで見つけ、解決する能力を高める学習をしましょう</p> <p>イ 子どもやお年寄りの安全や緊急時の共助の仕組みづくりをしましょう</p> <p>ウ 地域の環境保全活動や地域の伝統行事の継承を進めましょう</p>
<p>ア 地消地産の食育を推進し、食の健康を図りましょう</p> <p>イ 生涯に渡るスポーツやレクリエーション活動を進めると共に、競技スポーツ活動も振興しましょう</p> <p>ウ 脳健康学習を進め、認知症対策を図りましょう</p> <p>エ 芸術文化活動の振興を図り、生きがいづくりを進めましょう</p>
<p>ア さまざまな分野の知識や経験、優れた技能をもった人に人材バンク登録を促し、学習や活動をサポートしてもらいます</p> <p>イ 人材バンクの登録者が自ら仕かける学習・活動を支援します</p> <p>ウ 埋もれた人材を発掘し、各種委員やまちづくり活動など、活躍の場づくりを進めます</p>
<p>ア 自律的な市民活動を支援するための活動の補助制度を見直します</p> <p>イ ボランティアの受け入れニーズと提供したいニーズのマッチングを支援します</p> <p>ウ 市民活動を支援するNPOの立上げやコーディネーター、リーダーの育成等、各種団体の事務局体制や活動の支援を行います</p> <p>エ コミュニティビジネス等専門性を持った市民活動の起業と拡充を図ります</p>
<p>ア 市内や近隣の学習機会を集約し、行政の催し物カレンダーを毎月発行します またホームページにも学びの情報を掲載し、市民への学習情報の充実に努めます</p>
<p>ア 個人学習から仲間づくりまで、さまざまな市民の学習相談に対応できるよう学習情報のデータベース化を図ります</p> <p>イ 情報の共有化を図り、生涯学習関係施設のどこでも学習相談ができる体制を整備します</p>
<p>ア 公園など自然と親しむ施設の整備・充実に努めます</p> <p>イ 学校施設の改築にあたり、地域住民への開放も考慮した改築を進めます</p> <p>ウ 老朽化した生涯学習関係施設の改築を検討します</p> <p>エ 関係施設の計画的な修繕とそれ際のバリアフリー化に努めます</p> <p>オ 関係各課各係の連携・充実した事業展開を進めます</p>

第 1 部

推進構想

第1部 推進構想

改訂の趣旨と計画期間

1 「見附市生涯学習推進プラン」改訂の趣旨

見附市では、平成9年3月に市民一人ひとりが主体となり、自発的に生涯を通じて自由に学ぶことにより生きがいを見出し、その成果を社会に適切に生かすことができる「いきいき人生 いきいき社会」を基本構想の目的として「見附市生涯学習推進プラン」を策定し、その実現をめざし推進に努めてきました。

しかし、策定後10年が過ぎ、生涯学習を取り巻く社会情勢も大きく変化してきました。少子高齢化の進行、家庭や地域の教育力の推移、子どもを取り巻く環境の変化、高度情報化への対応など様々な課題が現れてきています。

さらに、市民活動団体、ボランティア、NPO、地域コミュニティなどさまざまな活動が展開されていく中で、市民活動の支援を強化することがより求められるようになってきました。

このような情勢の変化とこれまでの成果を踏まえ、上位計画である「第4次見附市総合計画」の基本目標4『人が育ち人が交流するまちづくり』の実現を中心とし、生涯学習の視点から、関係各課の事業効果が高められるプランに改訂し、今後の生涯学習推進行政の基本方向を示しました。

2 計画期間

この推進プランは、上位計画である「第4次見附市総合計画」との整合性を考慮して、平成21年度から平成28年度までを計画期間とします。

第 2 部

基本構想

第2部 基本構想

1 基本理念

いきいき人生 いきいき社会

前プランで掲げた基本理念『いきいき人生 いきいき社会』は、社会の変化に左右されない普遍的な理念と考え、前プランから継承するものとします。

市民一人ひとりが学びの意欲を持ち、その学びを生かして、いきいきとした人生を過ごすことが、いきいきとした社会につながるものと考えます。

まちづくりの推進の基盤となるように、生涯学習を推進していくものです。

2 基本目標

平成18年12月、教育基本法が改正され、第3条では生涯学習の理念として、『国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない』とあります。

『いつでも、どこでも、誰でも』自由に学習機会を選択し、学ぶことができること、そして、学習で得た知識・技術等の成果が適切に評価され、社会のそれぞれの場において活用されることが求められています。

このような背景の中、見附市では、市民と協働の生涯学習のまちづくりをめざして、次の2つの基本目標を設定しました。

1 一人ひとりが主体的に学び、生かします

生涯各期のそれぞれの成長段階における必要な学びと、見附市が現在取り組んでいる現代的課題について主体的に考える学習機会づくりの充実を図ります。

2 学び、生かすための環境を整えます

人材の発掘・育成と市民活動の支援を図り、学びやすい学習環境づくりを進めます。



3 基本施策

(1) ライフステージに応じた学びに取り組み、成果を生かしましょう

人の生涯は、身体と精神がともに成長を続け、それぞれがそのライフステージに応じた学びを体験します。

そこで、生涯を乳幼児期・少年期・青年期・成人期・高齢期に区分し、各期の学習課題と目標を把握した上で、各期に応じた主要施策の方向を設定します。

(2) 現代的課題に対応する学びに取り組み、成果を生かしましょう

近年、私たちを取り巻く環境は、めまぐるしい勢いで変化しています。「交流人口の問題や定住促進」「地域コミュニティの拡充」「心身の健康増進」などの現代的課題に応じた事業を展開する必要がでてきました。

(3) 人材の発掘・育成や市民活動を支援する仕組みづくりを進めます

学習機会の充実や学習環境づくりを行政が積極的に進めると共に、市民や団体の主体的な企画や活動を支援し、学びの推進を図ります。

(4) 学びや活動のしやすい環境づくりを進めます

多様化している市民の学習ニーズに応えるため、学んだ内容をどう生かしていくのか体系付けながら、学びやすい環境づくりを進めます。

4 主要施策と主要事業の方向

基本施策（１）

ライフステージに応じた学びに取り組み、成果を生かしましょう

主要施策

乳幼児期 心身の成長を促し、望ましい生活習慣を身につけましょう

乳幼児期とは、概ね0歳から6歳（小学校入学前）までの期間です。この時期は、親や特定少数の人が十分な愛情を注ぐことにより、人間への信頼と愛情を育てていく心、絆の形成を学びます。また、成長に応じ、複数の人たちとのかかわりを通じて情緒を発達させ人格を形成していくことが大切です。

主要事業の方向

- ア・子どもたちの興味や自ら進んで学ぼうとする意欲や行動する力を育みましよう
- イ・親子のふれあいを通し、基本的な生活習慣を身につける学びを充実ましよう
- ウ・同年代の子どもと一緒にふれあい、心身の成長を促す学びを進めましよう



主要施策

少年期 社会の変化に主体的に対応する能力を伸ばしましょう

少年期とは、概ね7歳から14歳までの期間です。この時期は、知的能力が飛躍的に発達し、自律的な自我意識を持つ人格が形成される時期であり、また、生涯を通して自分の健康を守っていくための生活習慣を確立させることが必要な時期でもあります。

同時に、成長の基礎となる体力や運動能力を身につけ、いろいろな知識、経験を蓄え、家族や仲間との関係の中で自分の役割や連帯感などの社会性を獲得していくことが大切です。

主要事業の方向

- ア・地域での「遊び」から、学ぶ意欲・思考力・判断力を培う学びを進めましょう
- イ・郷土（地域）の社会・自然・歴史・文化に親しむ学びを進めましょう
- ウ・ボランティアや共同生活体験を通じ、連帯感・協調性を培う学びを進めましょう



主要施策

青年期 自己実現に向け工夫・努力する態度を身につけましょう

青年期とは、概ね15歳から24歳までの期間です。この時期は、急激な身体的変化が現れ、自我意識の高まりがみられる一方で不安、いらだちや反抗など精神の動揺が著しい時期でもあります。

一般的に「子ども」から「おとな」への移行期にあたりと考えられています。親の保護から抜け出し、社会人として自立した生活を営み、さらに公共への参画や貢献の精神も重要となってきます。

主要事業の方向

- ア・出会いや交流の中で、自分の生き方や人生設計を考える学びの機会を作りましょう
- イ・社会人として必要な教養や自分が知りたいテーマについての学びを進めましょう
- ウ・地域社会やスポーツ文化活動を発展・継承する学びを進めましょう

主要施策

成人期 社会の担い手となって誇りを持って生活しましょう

成人期とは、概ね25歳から64歳までの期間です。この時期は働いたり、子どもを育てるなど、公私にわたり、極めて活動的な時期といえることができます。そんな多忙な時期を経て社会的には定年を迎えるなど、高齢期への準備期にさしかかっていきます。

主要事業の方向

- ア・社会人として必要な現代的課題についての知識を身につけましょう
- イ・趣味や教養を高め、豊かな暮らしを営むための学びを進めましょう
- ウ・地域で共に生きるための問題を考え、解決に向けた学びを進めましょう

主要施策

高齢期 多くの人との交流の中で生きがいを持って生活しましょう

高齢期とは、概ね65歳以上で、言わば人生の完成期です。余生を楽しみ、豊かな収穫を得る時期です。一般的に時間の余裕もあり、身につけてきた知恵や技術を伝えたり、心と身体の健康に留意しながら、生きがいを持って豊かに楽しみながら生活することができます。

主要事業の方向

- ア・同世代や異世代とのふれあいや社会活動への参加を促す学びを進めましょう
- イ・趣味や教養を高め、豊かな暮らしを営むための学びを進めましょう
- ウ・地域でいきいきと暮らすための問題を考え、解決に向けた学びを進めましょう



基本施策（２）

現代的課題に対応する学びに取り組み、成果を生かしましょう

主要施策

子育てを地域みんなで支えることの必要性を学び、体制を整備しましょう

家族関係が希薄化する傾向にあり、情報が錯綜する現代において、当然のごとく祖父母から父母へ、父母から子どもへと伝えられてきたものが伝えられにくくなってきている現状があります。

こうした中で、若い世代が安心して子どもを生み、ゆとりをもって健やかに育てていくために、地域や社会全体で子育てを支援するための仕組みを構築することが必要になってきました。

主要事業の方向

- ア・学校や親だけでなく、社会全体で育てる意識を育む学びをしましょう
- イ・不安や悩みを持つ親を支援する学びを充実しましょう
- ウ・学校・行政・地域でフォローする仕組みづくりや学びを進めましょう



主要施策

魅力的な地域づくりを進め、交流人口を増やしましょう

市民一人ひとりが、意識的に見附市を知る作業を通して、見附市を再発見し郷土愛を熟成しながら、魅力的なまちづくりを進めます。その作業の広がりが、交流人口への広がり、定住促進に繋がるものと考えます。

主要事業の方向

- ア・男女が心地よいパートナーシップで子育てをするために必要な学びや体制を整備しましょう
- イ・進出企業の市民雇用や従業員の定住、イベント参加などまちづくり活動への参画を推進しましょう
- ウ・全国の地域間交流を活発に進め、見附のまちの魅力を磨く学習をしましょう
- エ・団塊世代の知識や経験を生かして地域を活性化する活動をしましょう

主要施策

地域教育力の向上を図り、地域コミュニティの拡充を図りましょう

近年、地域住民のつながりの希薄化が進み、地域社会が変化してきています。この状況に伴い、家庭だけでなく地域社会の教育力の低下が社会全体の大きな問題として取り上げられてきました。

これからは、地域活動の連携と活性化を図る地域コミュニティの拡充を図ることが、地域教育力の向上につながるものと考えます。

主要事業の方向

- ア・地域課題を自分たちで見つけ、解決する能力を高める学習をしましょう
- イ・子どもやお年寄りの安全や緊急時の共助の仕組みづくりをしましょう
- ウ・地域の環境保全活動や地域の伝統行事の継承を進めましょう

主要施策

心身の健康増進を図り、スポーツ・文化活動を楽しみましょう

見附市は「日本一健康なまち」をめざしています。そのためには私たちの心と身体がともに健康であることが大切です。一人ひとりが食生活・運動・いきがい・検診の4つの視点から自分の生活を見つめ直す機会の提供を図るとともに、スポーツを楽しんだり、文化活動に参加する機会の充実に努めていきます。

主要事業の方向

- ア・地消地産の食育を推進し、食の健康を図りましょう
- イ・生涯にわたるスポーツやレクリエーション活動を進めるとともに、競技スポーツ活動も振興しましょう
- ウ・脳の健康学習を進め、認知症対策を図りましょう
- エ・芸術文化活動の振興を図り、生きがいづくりを進めましょう



基本施策（３）

人材の発掘・育成や市民活動を支援する仕組みづくりを進めます

主要施策

人材の発掘と育成をすすめ、学習活動に生かします

近年、市民団体やボランティア活動などの活性化が進んでいる情勢の中において、市民が求める学びの内容も多様化しています。行政側が学びの場を提供するだけでなく、市民自らが学びの機会を作り上げ、提供するという市民主体の生涯学習の推進が求められています。

このような状況に対応するため、専門的な能力を有し、指導することのできる人材の発掘や育成を行い、学習活動の場で生かしていきます。

主要事業の方向

- ア・さまざまな分野の知識や経験、優れた技能をもった人に人材バンク登録を促し、学習や活動をサポートしてもらいます
- イ・人材バンク登録者が自ら仕かける学習・活動を支援します
- ウ・埋もれた人材を発掘し、各種委員やまちづくり活動など、活躍の場づくりを進めます



主要施策

市民団体・自主グループ・ボランティア団体・NPOの活動や起業をめざすグループ団体等の活動支援を行います

近年、市民主体の民間活動が活発に展開されるようになってきました。このような環境の中、行政側はできるかぎりの市民活動の支援強化を行うことが求められています。

主要事業の方向

- ア・自律的な市民活動を支援するための活動の補助制度を見直します
- イ・ボランティアの受け入れニーズと提供したいニーズのマッチングを支援します
- ウ・市民活動を支援するNPOの立上げやコーディネーターやリーダーの育成等、各種団体の事務局体制や活動の支援を行います
- エ・コミュニティビジネス等専門性を持った市民活動の起業と拡充を図ります



基本施策（４）

学びや活動のしやすい環境づくりをすすめます

主要施策

学習情報の収集と発信、提供の充実を図ります

市民主体の生涯学習をめざすためには、行政側が確実に情報を発信することが重要な支援となります。また、市民が発信した情報を確実に取得できる体制を整えることが大切です。

主要事業の方向

ア・市内や近隣の学習機会を集約し、行政の催し物カレンダーを毎月発行します。また、ホームページにも学びの情報を掲載し、市民への学習情報の充実に努めます

主要施策

学習相談等機能の充実を図ります

学習機会の提供と、市民自らが求める学習への支援や相談を積極的に行います。個人から団体まで、多くの市民の身近な相談場所となるよう努めます。

主要事業の方向

ア・個人学習から仲間づくりまで、さまざまな市民の学習相談に対応できるよう学習情報のデータベース化を図ります。
イ・情報の共有化を図り、生涯学習関係施設のどこでも学習相談ができる体制を整備します。

主要施策

学習の場を拡充し、関係施設の利便性の向上を図ります

多様化、高度化する市民の学習の要求に対応するため、学習の場となる施設の整備を行い、市民がより利用しやすいように利便性を図ります。

主要事業の方向

- ア・公園など自然と親しむ施設の整備・充実に努めます。
- イ・学校施設の改築にあたり、地域住民への開放も考慮した改築を進めます。
- ウ・老朽化した生涯学習関係施設の改築を検討します。
- エ・関係施設の計画的な修繕とその際のバリアフリー化に努めます。
- オ・関係各課各係の連携、充実した事業展開を進めます。



第2次 見附市生涯学習推進プラン

平成21年3月

見附市まちづくり課 生涯学習推進係
〒954-0052 見附市学校町1-16-15
見附市市民交流センター（ネーブルみつけ）
電話 0258 - 62 - 7801 Fax0258 - 62 - 7810